

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書（Web 公開用）

申請者（ふりがな）	西村 茉鈴（にしむら まりん）
所属・資格（※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載）	早稲田大学人間科学部人間情報科学科 学士課程 4 年
発表年月 または事業開催年月	2024 年 3 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	INTERACTION 2024
発表者（※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること）	西村 茉鈴, 菊池 浩史, 菊池 英明
発表題目（※学会発表の場合のみ記載）	安心感と原動力を提供し冒険心や挑戦心を与えるエージェントの個体数による効果の変化
発表の概要と成果（抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。） 本研究では、人間の精神衛生の維持に重要である安全基地という概念に注目し、安全基地の要素である安心感と原動力という 2 つの感覚を、ユーザーに対して同時に提供してくれるエージェントについて考案した。先行研究において、ユーザーに安心感と原動力という 2 つの感覚を個別に提供してくれるエージェントロボットは、数多く開発されている。しかし、ユーザーに、安全基地の定義である安心感と原動力という 2 つの感覚を同時に提供してくれるエージェントは、現状では存在していない。そこで、ユーザーに対して、この 2 つの感覚を提供するエージェントを開発し、単一個体で安心感と原動力を提供するエージェントの方が、それぞれの感覚を個別に提供する複数個体のエージェントよりも、ユーザーに冒険心や挑戦心を提供するという仮説について検証を行なった。その結果、実験前と後に実施したアンケート結果を比較した場合、全ての尺度において、単一個体と複数個体のどちらも上昇したが、実験前後の変化量の個体数による有意な差は見られなかった。一方で、単一個体か複数個体のエージェントかということを比較した質問については、単一個体の方が良いという結果が確認された。	

※無断転載禁止